

---

# 市川町農業景況調査

---

2023年1-6月期

市川町商工会

# 目 次

I. 調査要領.....	1
1. 調査目的.....	1
2. 管内調査.....	1
II. 管内調査結果.....	2
1. 業況.....	2
2. 採算の状況.....	4
3. 資金繰りの状況.....	6
4. 人材の状況.....	7
6. 今後の経営方針.....	10
7. 原油高・原材料高による影響.....	11
8. その他（自由記述）.....	122

## 1. 調査要領

---

### 1. 調査目的

管内の農業者の景気動向について、その実態を把握すると共に、全国の情勢との違いを把握する。  
※全国の情勢は、日本政策金融公庫「農業景況調査」の調査結果を参照した。

### 2. 管内調査

市川町商工会管轄内の農業者を対象に、アンケート調査を実施した。

- (1) 対象農業者数…5者
- (2) 調査方法…商工会の職員による訪問面接調査
- (3) 調査対象期間…2023年1月から6月末の半年間を対象とした。

#### ※指標について

本報告書のD Iとは、「ディフュージョン・インデックス」(景気動向指数)の略で、各調査項目において増加・上昇・好転とした事業者割合から、減少・低下・悪化とした企業割合を引いたものである。

#### ※本報告書の変更について

今期から、「新型コロナウイルス感染症」に関する項目を削除した。

## II. 管内調査結果

### 1. 業況

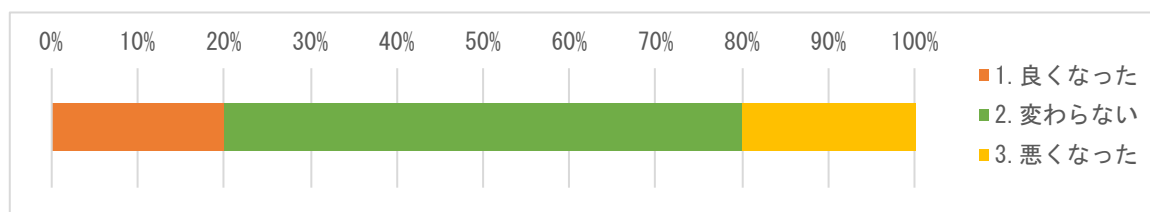
#### (1) 業況D I (2023年上半期)

2023年上半期の業況が「良くなった」「悪くなった」と回答したのは1者ずつ、「変わらない」と回答したのは3者であり、D Iは0.0であった。

全国のD Iは▲32.2であった。市川町は、全国的な傾向よりも業況が良い。

図表1. 業況D I (2023年上半期)

農業者数				構成比			市川町	全国
1.良くなった	2.変わらない	3.悪くなった	合計	1.良くなった	2.変わらない	3.悪くなった	DI	DI
1	3	1	5	20.0	60.0	20.0	0.0	▲32.2



#### (2) 業況判断の背景 (自由回答)

「悪くなった」背景として、「新商品開発による利益率の向上」が挙げられている。

「良くなった」背景として、「世代交代による消費行動の変化」が挙げられている。

### 【参考資料】 自由記述回答

問 2-2 業況判断の背景について、貴社が感じておられることをお書きください。

世代交代が進むことで家庭菜園が減っている。プランター中心の都会が増えており、畑等の田舎は減っているため、購入数が全体的に減っている。ホームセンター等業者についても、在庫を抱えたくないの、一回あたりの購入数が減っている。

新商品（加工品）の開発により利益率が良くなった

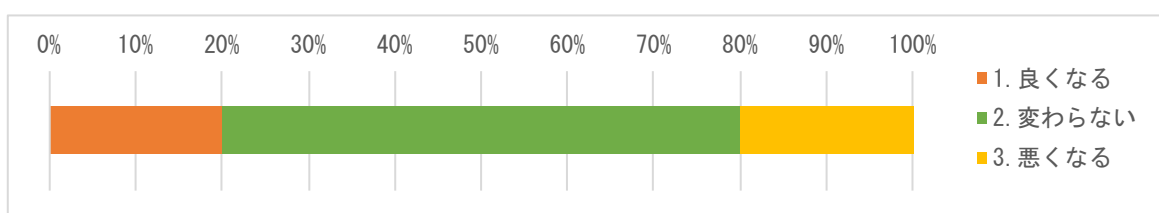
(3) 業況D I (2023 年見通し)

2023 年通年の業況見通しが「良くなる」「悪くなる」と回答したのは 1 者ずつ、「変わらない」と回答したのは 3 者であり、D I は 0.0 であった。

全国の D I は▲31.3 であった。2023 通年の業況見通しにおいても、市川町の方が、全国と比べると良い。

図表 2. 業況D I (2023 年見通し)

農業者数				構成比			市川町	全国
1.良くなる	2.変わらない	3.悪くなる	合計	1.良くなる	2.変わらない	3.悪くなる	DI	DI
1	3	1	5	20.0	60.0	20.0	0.0	▲31.3



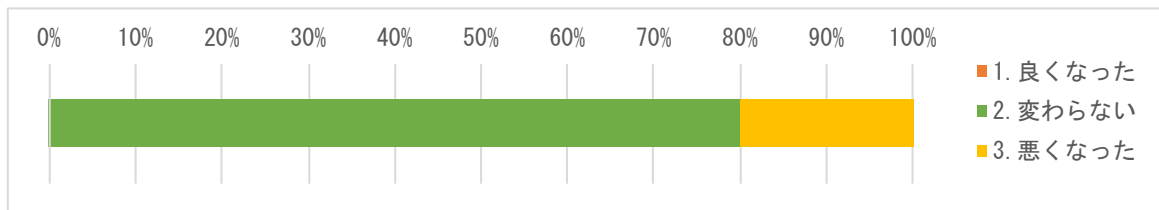
## 2. 採算の状況

### (1) 採算D I

採算が「悪くなった」と回答したのは1者、「変わらない」と回答したのが4者であり、採算が「良くなった」と回答した者はなく、D Iは▲20.0であった。  
 全国のD Iは、▲38.5であった。市川町の方が、全国よりも採算の状況が良い。

図表3. 採算D I

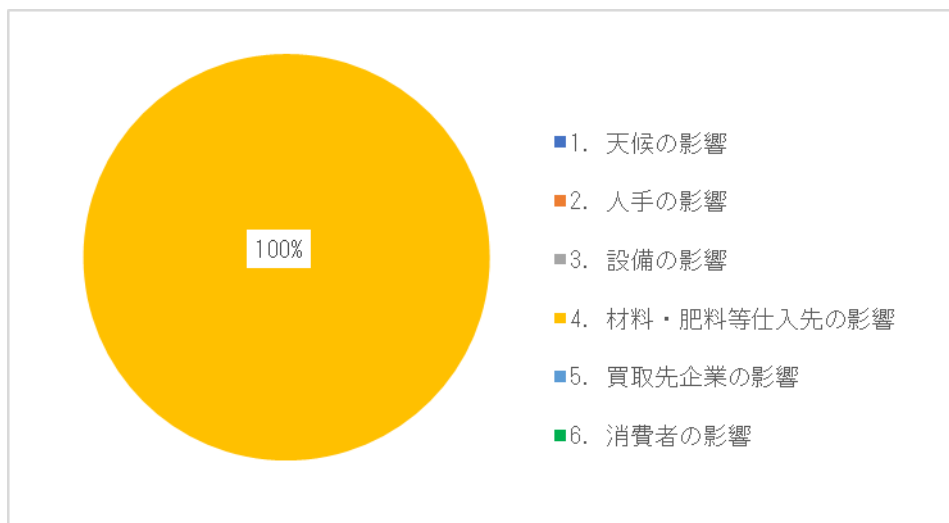
農業者数				構成比			市川町	全国
1.良くなった	2.変わらない	3.悪くなった	合計	1.良くなった	2.変わらない	3.悪くなった	DI	DI
0	4	1	5	0.0	80.0	20.0	▲ 20.0	▲38.5



### (2) 収支が好転、または悪化した理由

採算が「悪くなった」とした1者は、「4. 材料・肥料等仕入先の影響」と回答した。  
 仕入先からの原材料価格高騰が、収支に悪影響を与えている。

図表4. 採算好転悪化の理由



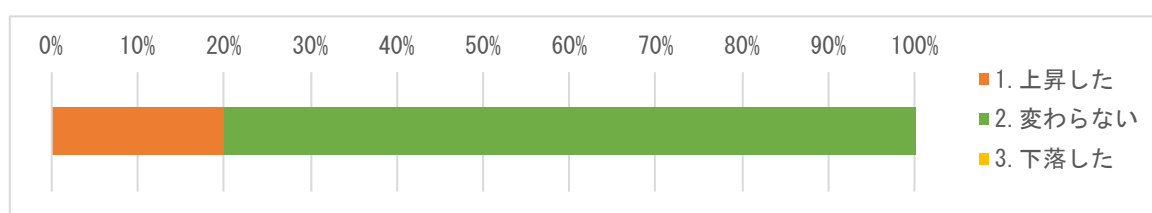
### (3) 販売価格D I

販売価格が「上昇した」と回答した事業者は1者、「変わらない」と回答した事業者は4者あった。市川町のD Iは20.0であった。

全国のD Iは▲2.1であった。全国では販売価格が下落傾向だが、市川町では上昇傾向となった。

図表5. 販売価格D I

農業者数				構成比			市川町	全国
1. 上昇した	2. 変わらない	3. 下落した	合計	1. 上昇した	2. 変わらない	3. 下落した	DI	DI
1	4	0	5	20.0	80.0	0.0	20.0	▲2.1



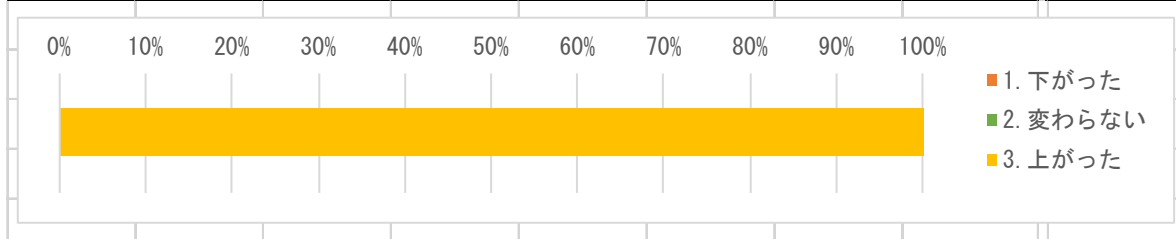
### (4) 生産コストD I

生産コストは、全ての事業者が「上がった」と回答し、市川町のD Iは▲100.0であった。

全国のD Iは▲86.3であった。全国と市川町ともに、生産コストが上昇傾向にある。

図表6. 生産コストD I

農業者数				構成比			市川町	全国
1. 下がった	2. 変わらない	3. 上がった	合計	1. 下がった	2. 変わらない	3. 上がった	DI	DI
0	0	5	5	0.0	0.0	100.0	▲100.0	▲86.3



### 3. 資金繰りの状況

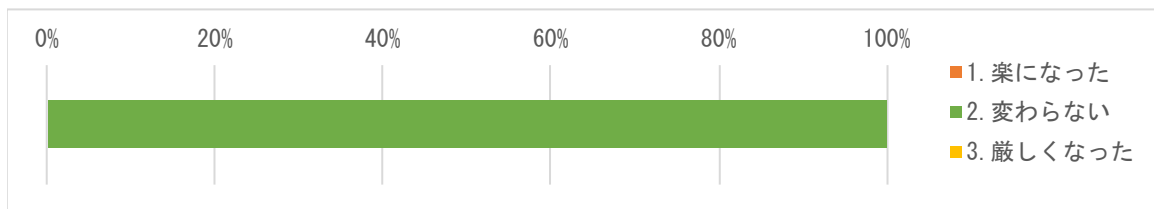
#### (1) 資金繰りDI

「楽になった」「厳しくなった」と回答した事業者はおらず、すべての事業者が「変わらない」回答しており、DIは0.0であった。

全国のDIは▲31.8であった。全国よりも市川町の数値が高く、資金繰りの状況が安定傾向である。

図表7. 資金繰りDI

農業者数				構成比			市川町	全国
1.楽になった	2.変わらない	3.厳しくなった	合計	1.楽になった	2.変わらない	3.厳しくなった	DI	DI
0	5	0	5	0.0	100.0	0.0	0.0	▲31.8





#### 4. 人材の状況

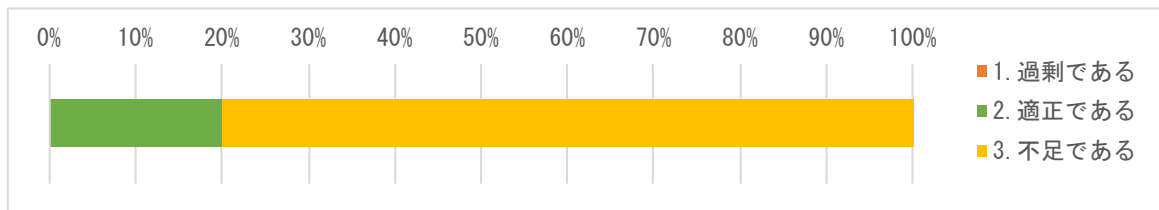
##### (1) 人材D I

人材が「適正である」と回答した農業者は1者で、「不足である」と回答したのは4者であり、市川町のD Iは▲80.0であった。

全国のD Iは▲37.1であった。人材不足の傾向は、全国に比べ市川町の方が厳しい状況であるとうかがえる。

図表8. 人材D I

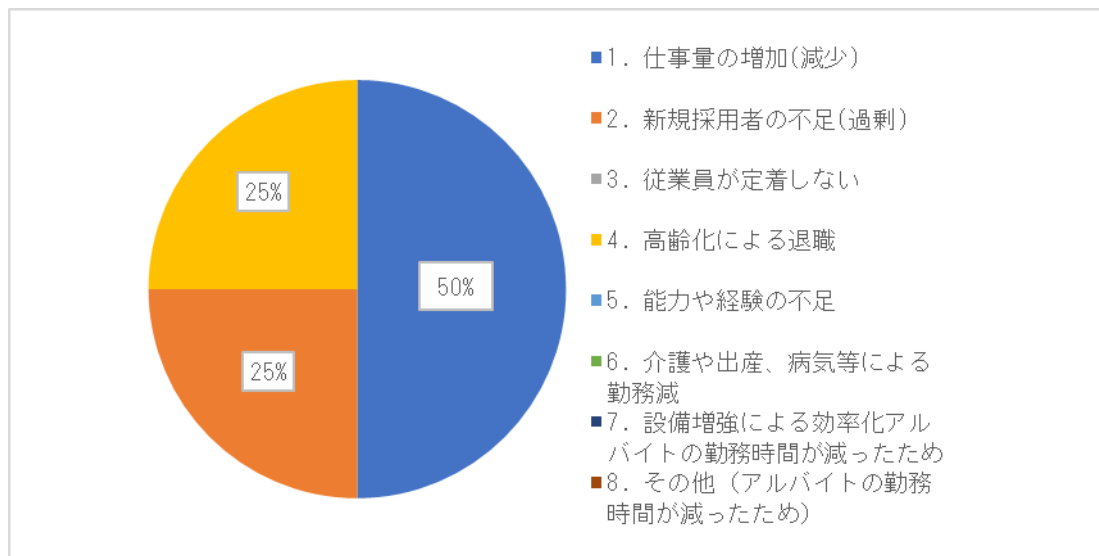
農業者数				構成比			市川町	全国
1.過剰である	2.適正である	3.不足である	合計	1.過剰である	2.適正である	3.不足である	DI	DI
0	1	4	5	0.0	20.0	80.0	▲ 80.0	▲37.1



##### (2) 人材が過剰又は不足の理由

人材が「不足である」と回答した4者のうち、2者が「1. 仕事量の増加(減少)」を理由とした。残る2者は、それぞれ「2. 新規採用者の不足(過剰)」と「4. 高齢化による退職」を理由とした。

図表9. 人材過不足の理由

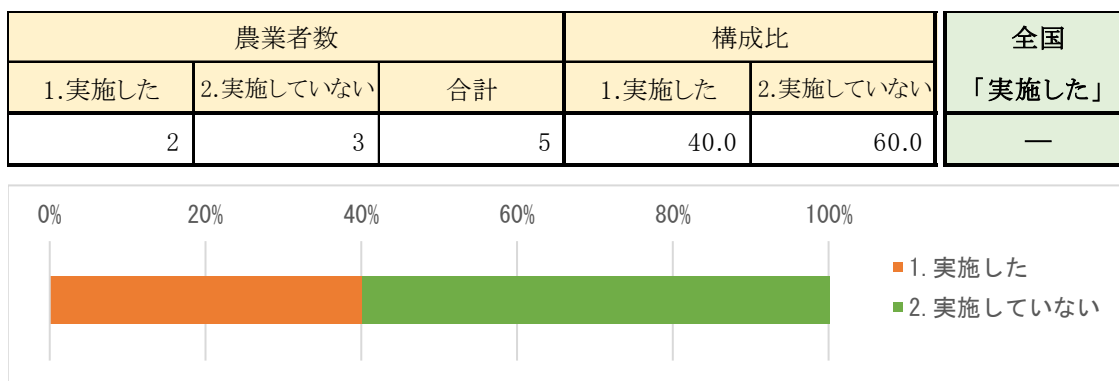


## 5. 設備投資の実施状況

### (1) 今期の設備投資

2023年上半期に設備投資を「実施した」と回答したのは2者、「実施していない」と回答したのは3者であった。

図表10. 今期の設備投資実施状況

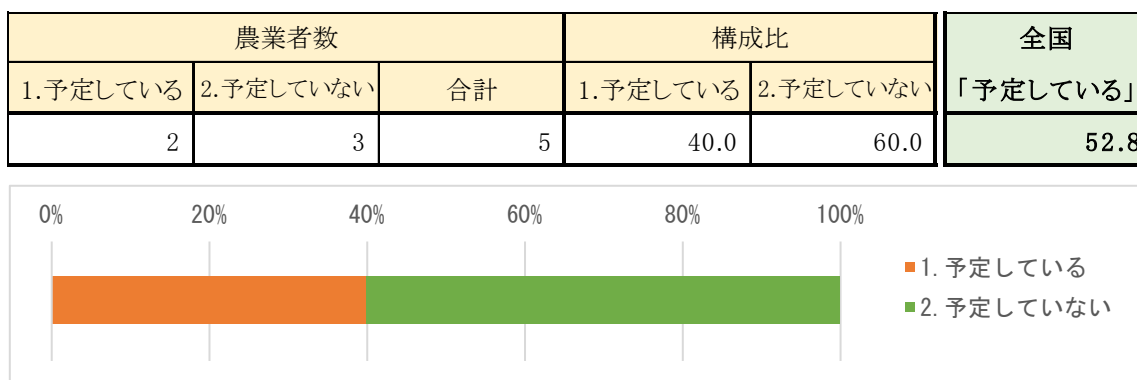


### (2) 今期の設備投資予定

2023年の設備投資を「予定している」と回答したのは2者、残り3者は「予定していない」と回答した。

全国の調査で「予定している」と回答した者は52.8%であった。市川町の方が、全国よりも設備投資に対して消極的である。

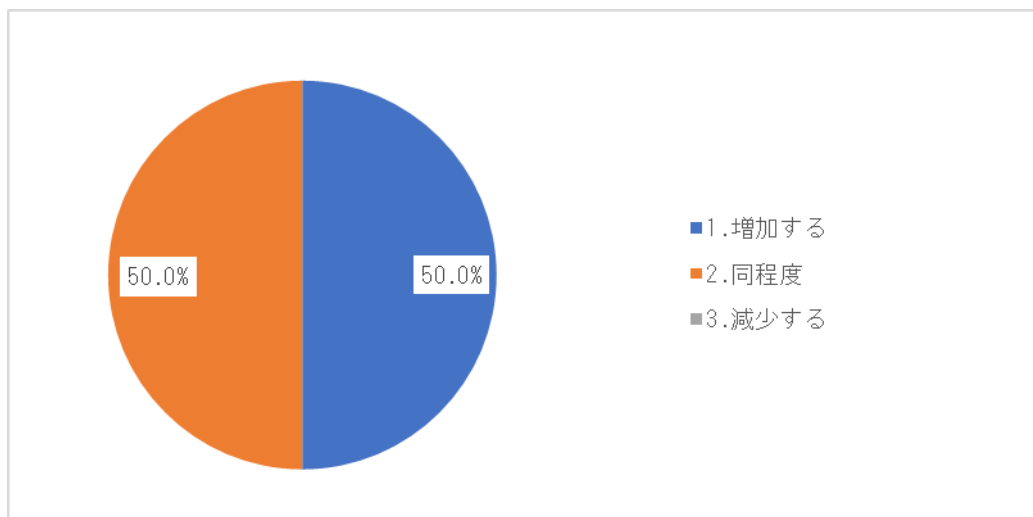
図表11. 今期の設備投資の予定



(3) 前年と比べた今年の設備投資額

2023年に設備投資を予定している事業所は、1者が前年と比べて設備投資額は「増加する」と回答し、1者が「同程度」と回答した。

図表1 2. 前年と比べた今期の設備投資額

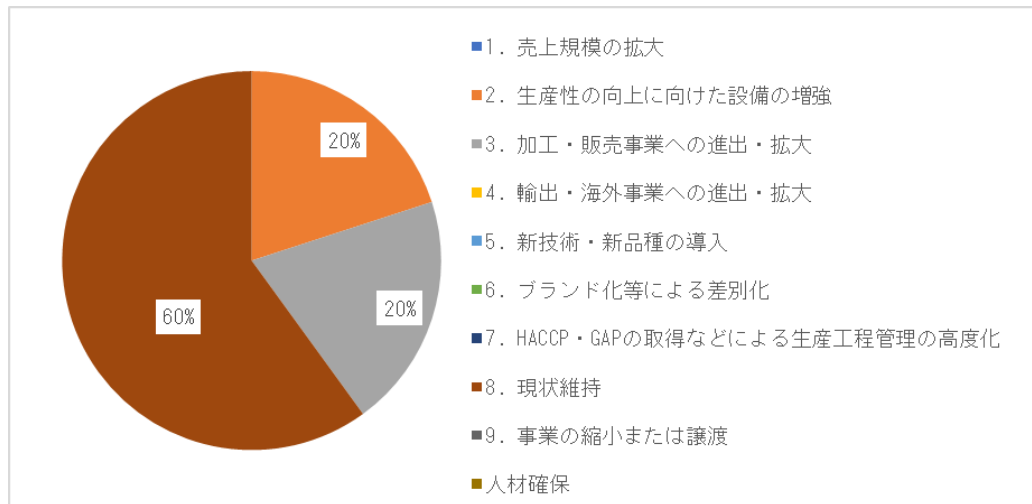


## 6. 今後の経営方針

### (1) 重視する経営方針

今後の経営方針については、3者が「現状維持」と回答し、残りの2者は、それぞれ「2. 生産性の向上に向けた設備の増強」、「3. 加工・販売事業への進出・拡大」と回答した。

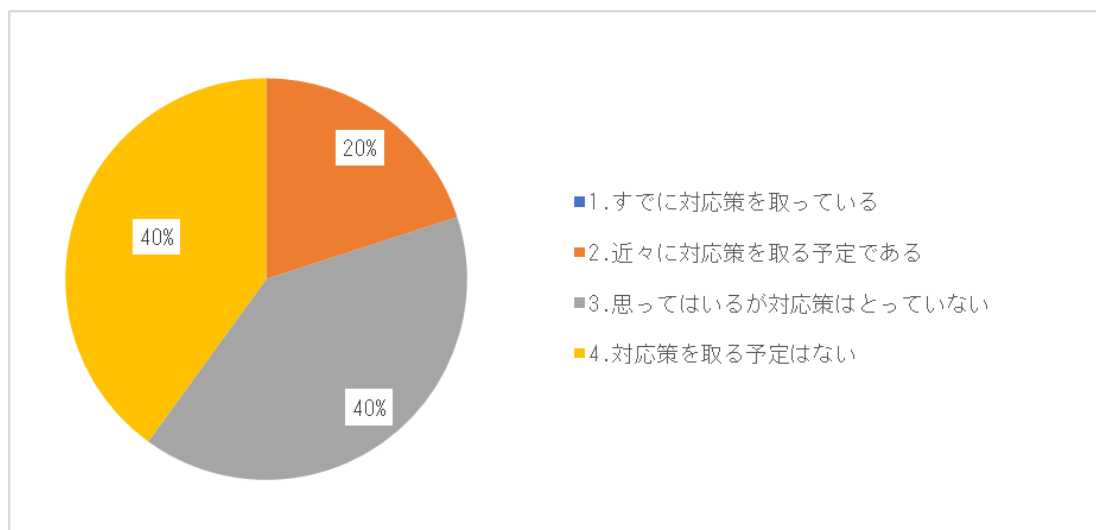
図表 1 3. 今後の経営方針



### (2) 経営方針に対する取り組み状況

(1) に挙げた経営方針に対する取り組みを「すでに行っている」と回答した事業者はいなかった。「3. 思っているが対応策はとっていない」、「4. 対応策を取る予定はない」と回答した事業者が2者ずつあり、課題に感じているものの行動に移せていない事業者もいる。

図表 1 4. 経営方針に対する取り組み状況

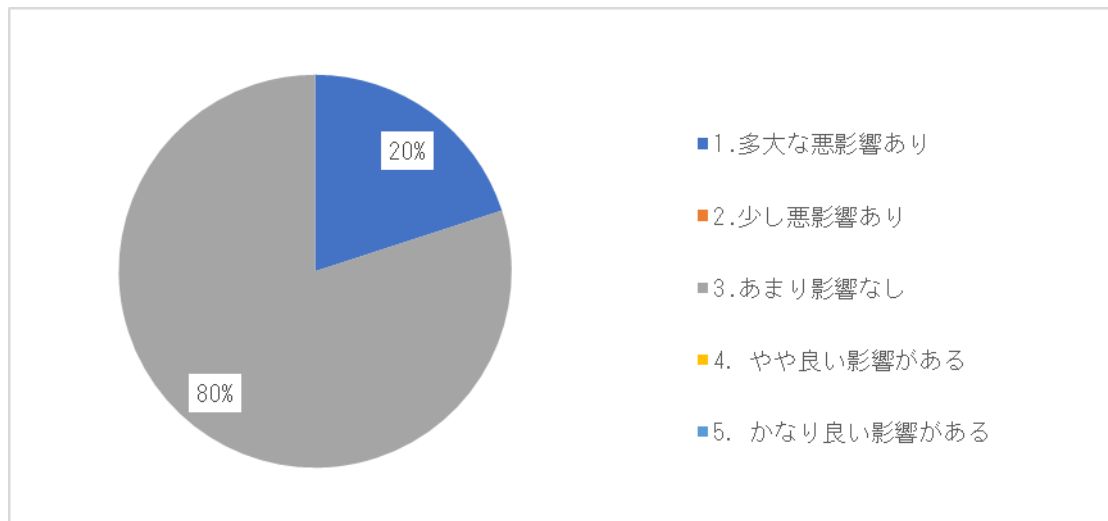


## 7. 原油高・原材料高による影響

### (1) 今期売上高への影響

「多大な悪影響あり」が1者であったが、残り4者は「あまり影響なし」と回答した。今期の売上高に対する原油高・原材料高についての影響度合はあまり強くないと見受けられる。

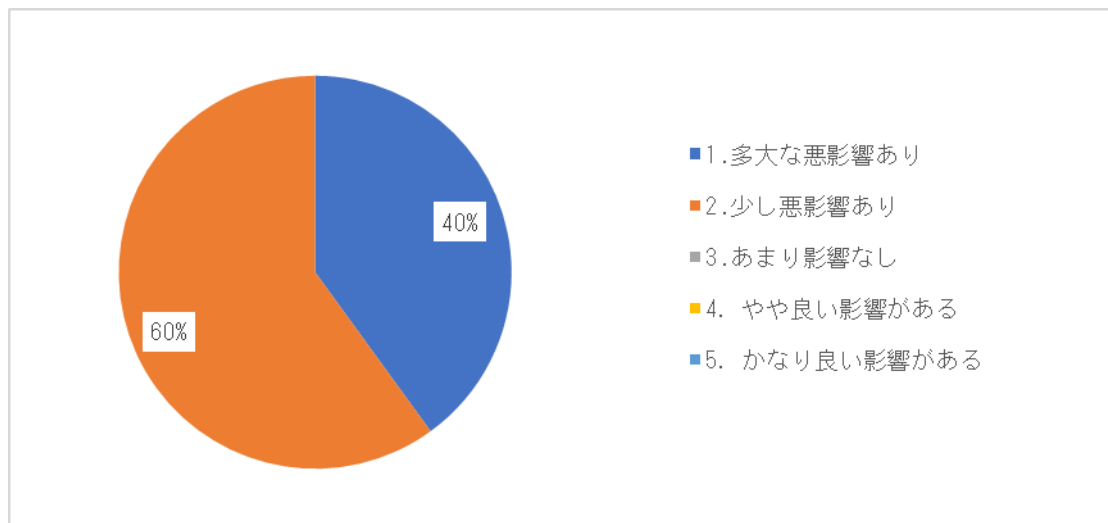
図表 17. 原油高・原材料高の売上高への影響



### (2) 今期の採算（経常利益）への影響

「多大な悪影響あり」が2者、「少し悪影響あり」が3者あった。原油高・原材料高について採算の面では、全ての事業者が悪影響を感じている。

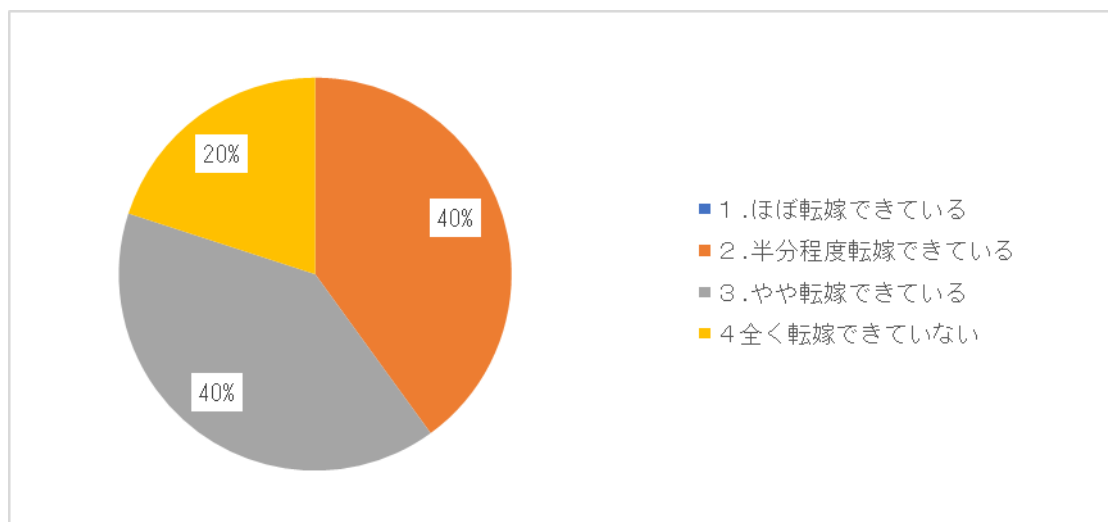
図表 18. 原油高・原材料高の採算（経常利益）への影響



### (3) 販売価格に転嫁できているか

「半分程度転嫁できている」が2者、「やや転嫁できている」が2者、「全く転嫁できていない」が1者であった。8割程度の事業者は、値上げを価格に転嫁できている。しかし、対応できていない事業者も2割程度、存在している。

図表19. 原油高・原材料高を価格に転嫁できているか



### (4) 事業への影響 (自由記述)

ユーロ高・円安等もあり、強烈に影響している

経費は増えているのに販売価格が上がる見込みがない

### 9. その他 (自由記述)

その他、地域の景況についてや、商工会へのご意見ご要望等、ご自由にお書きください。

今回調査では、意見や要望は無かった。